

ACANTHUS NEWS



「アカンサス」(和名「ハアザミ」)は、南ヨーロッパ原産で葉を様式化した文様はギリシャ建築などで有名。金沢大学の校章も、このアカンサスの葉を図案化したもの。

平成13年 **2001.11**
月刊アカンサスニュース
金沢大学広報紙 第62号

世界に広がる交流の輪 中国・大連大学を訪問

TOPNEWS



左側が本学訪問団 左から小林和久経理部長, 廣瀬幸雄共同研究センター長・理学部教授, 花岡副学長, 水上修一事務局長, 太田富久機器分析センター長・薬学部教授 (撮影: 渡邊弘樹研究協力課長)
=大連大学女子学院会議室で

花岡副学長(左)と魏大連大学学長(右)



由大連大学副学長(右)

10月24日から4日間, 花岡美代次副学長をはじめ本学から6名が中国・大連大学を訪れ, 両大学の国際共同研究や産学交流活性化のための協議を行った。

大連大学の由業誠副学長(学長代理)は、「共同研究の推進に感謝し, 今後さらに金沢大学との研究交流を深めたい」と述べ, 花岡副学長は「両大学が世界から注目されるような関係に発展させたい」と今後の抱負を語った。

本学と大連大学は, 本年3月8日に大学間交流協定を結んでおり, 10月29日から15日間は大連大学の研究者訪問団が本学共同研究センター, 薬学部等を訪れるなど, 盛んな交流が行われている。

巻頭言

挽回そしてリード



副学長
花岡 美代次
(薬学部教授)

今年は大変な年であった。6月に入学試験ミスが見つかったのが始まりであった。その後は重く長い作業であった。全学一致して事に当たることができたのが、せめてもの救いであった。受験生の心情に思いを馳せる時、本学の責任の重大さを改めて痛感する。

学長裁量経費は半分に減額された。本来の研究経費はもとより、学内重点化経費の外部審査謝礼等々に甚大な影響を与えた。平成14年度概算要求は保健学専攻の博士課程、自然計測応用センター（理学部の植物園、臨海実験所、低レベル放射能実験施設及び工学部の電磁場制御実験施設を統合発展させた環境科学研究センター）及び薬学部学科改組が認められるにとどまり、その他諸々の懸案事項は実現目前でことごとく涙をのみ、少なくとも一年の停滞を余儀なくされた。

本年度の自然科学研究科にかかるTA経費が大幅に削減された。他部局への配当は前年度並であるので、入

試ミスによる影響ではない。研究業績（論文数、学会ゲストスピーカー数、科研費採択数、特許件数など）の低下によるものという。来年度からの「トップ30」を控えて憂慮すべき事態である。一年でそんなに業績低下するとも考えにくい。これ迄の手作業による業績データ集計法を改め、ITを活用した正確で迅速なデータ集計法を早急に導入する必要がある。

平成14年度科研費申請数は前年度を僅かながら下回った（11月8日現在）。13年度から30%の間接費が導入され、14年度は若手研究（A）にも適用拡大された科研費の益々高まる重要性に鑑み、あらゆる機会を捉えて申請数の飛躍的増大を力説・懇請してきた一人として、がく然とした思いに囚われている。平均一人一件も申請しない大学が研究指向大学と言えるのだろうか。

色々悲観的なことを書き連ねてきたが、前回（アカンサスニュース第55号）にも述べたように、本学には新しい芽が着実に育ってきていることも事実である。大学統合、独立行政法人化、トップ30と大学改革のスケジュールは目白押しである。本年は飛躍のための屈膝、前進のためのステップバックの年であったと、後に懐かしさを込めて振り返ることができるよう、プラス思考で取り組みたいものである。

目次

世界に広がる交流の輪中国・大連大学を訪問……………	1	旧制四高開学115年祭全国大会……………	7
巻頭言「挽回そしてリード」副学長 花岡美代次……………	2	第2回北溟寮同窓会……………	7
54年の歴史に幕がん研究所附属病院閉院……………	3	大学事務系OB・OG「健寿会」……………	7
大学改革推進室を設置……………	3	金沢地方裁判所で「裁判教室」実施……………	8
「東海北陸地区・平成14年度科学研究費補助金 公募要項等説明会」を開催……………	4	IT基礎講習が開講……………	8
韓国の大学との合同セミナー……………	4	外国語教育研究センター研究会を開催……………	8
釜山国立大学校薬学大学とセミナーを開催……………	4	金岡教授 経済産業大臣表彰受賞……………	9
「薬剤師生涯教育リフレッシュフォーラム」を開催……………	4	井上教授ら4名北國がん基金研究活動助成に選ばれる……………	9
有機化学学会開催……………	4	大西君「CGIによる雪の結晶」で受賞……………	9
「意識的でない語彙学習」の重要性……………	4	福村さん 200Mで全日本6位入賞……………	9
佐藤久美子玉川大学教授による講演会……………	5	本学へのお客さま……………	10
大学からベンチャーへの挑戦……………	5	職員研修……………	10
「アントレプレナーセミナー」を開催……………	5	スポーツの秋……………	10
「平成13年度実験動物慰霊祭」挙行……………	5	医学部5、6年次生による心肺蘇生講習会……………	11
「国立学校管財課長等会議」を開催……………	5	市民を対象にミニ講演会を開催……………	11
アジのDNAを見てみよう……………	6	編集後記……………	11
一理学部附属臨海実験所で……………	6	米国教員が教育学部を訪問 フルブライトメモリアル……………	12
南極の流しそつめん……………	6	留学生、茶道を体験……………	12
		就職指導ガイダンスを開催……………	12

10月のニュースの杜

54年の歴史に幕
がん研究所附属病院閉院

9月29日、本学がん研究所附属病院の閉院式が金沢市米泉町の同病院前で行われ、澤武紀雄病院長、山本健一所長、磨伊正義診療科長、鈴木すゝゑ看護婦長により表札が下ろされた。結核研究所附属病院から数えて54年の歴史を持つ同病院

は、医学部附属病院に統合された。

閉院式の後、医師、看護婦、職員、周辺住民が同病院の庭に集い、「さよならパーティ」が催された。



澤武病院長（右奥）、山本所長（右前）、磨伊診療科長（左奥）、鈴木婦長（左前）
＝がん研究所附属病院前で

大学改革推進室を設置

10月17日、花岡副学長を室長として、金沢大学大学改革推進室が設置された。

これは、国立大学の独立行政法人化に向けた対応、研究中心の大学への組織改革などについての調査や作業を行うことを目的としている。

室員として、井上英夫法学部教授、横山壽一経済学部教授、吉本谷博医学系研究科教授、山崎光悦工学部教授の4名が任命された。また、新たに事務室が設置され、新しい大学づくりに取り組む。



創設された大学改革推進室と事務室員

10月のニュースの杜

「東海北陸地区・平成14年度科学研究費補助金公募要項等説明会」を開催



あいさつする久保芳廣総務部長

10月4日、「東海北陸地区・平成14年度科学研究費補助金公募要項等説明会」が、本学秀峯会館を会場として開催され、東海北陸地区の94機関から約190名が参加した。

説明会では、文部科学省学術研究助成課・岡本和久係長、同課・西田寿一事務官、日本学術振興会研究助成課・佐藤敬浩係長、同課・春山秀雄事務官の4名を講師として、前年度との相違点などが詳細に説明された。

韓国の大学との合同セミナー
釜山国立大学校薬学大学とセミナーを開催

10月10日、大学間交流協定を結ぶ韓国・釜山国立大学校薬学大学と、本学薬学部による「第3回合同セミナー」が、宝町キャンパスの医学部記念館で開催され、学生を中心に約90名が参加した。

韓国側からは、朴鍾喜薬学大学長・教授、任光植教授、鄭海泳教授、文田玉副教授が出席し、鄭教授と文副教授による講演などが行われた。

左から御影雅幸本学薬学部附属薬用植物園長・教授，文副教授，任教授，辻彰本学薬学部長・教授，朴薬学大学長，鄭教授
＝医学部記念館で解説する正宗教授
＝医学部十全講堂にて

9月30日、医学部十全講堂にて本学薬学部主催による「第3回薬剤師生涯教育リフレッシュフォーラム」が開催された。このフォーラムは薬剤師の卒後教育を目的とするもの。

「薬剤師生涯教育リフレッシュフォーラム」を開催

国立精神神経センター遺伝子工学研究部・木村秀雄部長らにより最新の研究成果が発表され、本学からは正宗行人薬学部教授、太田富久同教授がそれぞれ基礎薬学の視点から解説を行った。

有機化学学会開催

10月19、20日、「平成13年度有機合成化学北陸セミナー」が、有機合成科学協会関西支部の主催により、北陸学院大学白山麓研修センターで開催された。これは北陸地区で有機化学を学ぶ学生を対象として行われているもので、本学学生も多数参加し、今回は計約130名が参加した。

野依良治名古屋大学教授がノーベル化学賞を受賞したこともあり、学生間では活発な議論が交わされた。

留学生の話しを聞く小松満男有機合成化学協会
関西支部長・大阪大学教授（中央右）

10月のニュースの杜

「意識的でない語彙^い学習」の重要性 佐藤久美子玉川大学教授による講演会

講演する佐藤久美子玉川大学教授
＝外国語教育研究センターで

9月27日、外国語教育研究センターで、玉川大学の佐藤久美子教授を講師に迎え、「Incidental Vocabulary Learning」と題する英語学習についての講演会が開催され、学内外から約50名が参加した。

講演では、主題別に関連した語群を記憶する学習方法や、映画の英語字幕を利用した実験学習の成果などが話され、「意識的でない語彙学習」の重要性が指摘された。

大学からベンチャーへの挑戦
「アントレプレナーセミナー」を開催

10月16日、工学部秀峯会館において、共同研究センター、大学院自然科学研究科等が主催して、「大学におけるベンチャーの可能性を探ろう」をテーマとするアントレプレナーセミナーが開催された。これはベンチャービジネスプランの作成・発表を通して、大学生・大学院生が起業家に求められる精神を持ち、高揚させることを目的とする。会場はほぼ満席となった。



計10グループの発表があった
＝工学部秀峯会館で



馬淵医学系研究科長・医学部長
＝宝町キャンパスで

「平成13年度実験動物慰霊祭」举行

10月4日、医学系研究科、医学部、薬学部、がん研究所の共催で、平成13年度実験動物慰霊祭が宝町キャンパス内で行われ、教職員と学生約150名が献花した。

慰霊碑の前に黙とうを捧げた後、馬淵宏医学系研究科長・医学部長が「尊い命を無駄にすることなく、人類の健康の増進、疾病からの解放、福祉の向上などに役立てます」と述べ、医学・薬学の進歩に命を捧げた動物に感謝と哀悼の意を表した。

「国立学校管財課長等会議」
を開催

10月1、2日、「第7回国立学校管財課長等会議」が本学を当番校として開催された。

小林和久経理部長のあいさつに続き、文部科学省大臣官房会計課 吉永達雄管財班主査から、「国有財産全般について」と題する、大学の独立行政法人化と国有財産への取組みなどについての詳しい説明があり、各大学にとって有意義なものとなった。



説明する文部科学省 吉永主査（中央）

10月のニュースの杜

アジのDNAを見てみよう

— 理学部附属臨海実験所で —

10月13, 14日, 中学生を対象としたプロジェクト「生物の理解: 身近な魚の形態・生理・遺伝子まで」が, 理学部附属臨海実験所(珠洲郡内浦町)で開催され, 地元の中学生17名が泊りかけで参加した。

笹山雄一所長・理学部教授による遺



伝子についての講義の後, 中学生はアジを解剖し, 2日間にわたってDNA抽出の実験に取り組んだ。実験終了後には修了証が手渡された。

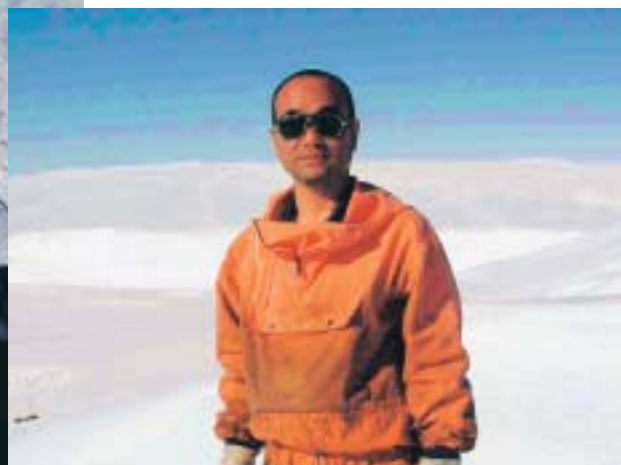
(右上の写真) 講義する笹山所長・教授
＝臨海実験所で

南極の流しそうめん



南極越冬隊員の久保栄さん(本学技術支援センター技術専門職員)から近況報告が届いた。

「10月17日に流しそうめんをしました。お湯と一緒に麺を流します。すぐに凍ってしまうので, すくいあげて素早く汁につけ, 急いで口に入れました」



氷山の斜面をつかっでの流しそうめん(左手前が久保さん)
＝南極にて

「小さい氷山に登りました」

卒業生, OB・OGの今

旧制四高開学115年祭全国大会

10月21日、金沢大学の前身である旧制第四高等学校の開学百十五年祭全国大会が市内のホテルであり、同窓生約880名が出席して盛大に行われた。祝宴では、同窓生は熱き青春の日々に思いをはせ、応援歌などを心行くまで歌った。

また、前日の20日には、同窓生約120名が角間キャンパス内のケヤキ並木「北の都並木」を訪れ、並木の記念碑の前で寮歌が熱唱された。



あいさつする林学長
=市内のホテルで



記念碑前で寮歌を放歌
=角間キャンパスで



あいさつする
畑副学長

寮歌を合唱
=金沢市内で

第2回北溟寮同窓会

10月6日、昭和30年代に北溟寮で寝食を共にした同窓生による第2回同窓会が市内のホテルで開かれ、約30名が出席した。

食事会では、畑安次副学長が出席し、あいさつした。同窓生は酒を酌み交わし、寮生活の思い出やバンカラ学生生活の話に花を咲かせた。

また、寮歌や南下軍を合唱し、青春にかえったひとときを過ごした。

大学事務系OB・OG「健寿会」

10月5日、健寿会(本学事務・技官OB・OG)が移転後の角間キャンパス施設の見学会を実施し、約40名が参加した。

はじめに、水上修一事務局長、前田廣志施設部長が本学の現状や移転事業の概要について説明した。

角間の生協食堂で昼食をとりながら歓談した後、角間キャンパス内と平和町キャンパス教育学部附属学校など新しくなった校舎を見学した。



あいさつする水上事務局長
=大会議室で

金沢地方裁判所で「裁判教室」実施

10月16日、金沢地方裁判所、同家庭裁判所による「裁判教室」が、本学法学部生25名を対象に金沢地裁で実施された。これは法の日週間行事として開かれたもので、今回が初の開催となる。

刑事事件の裁判を傍聴した後、裁判官、検察官、弁護士と学生との質疑が行われた。また、座談会も開かれ、参加した学生は裁判官の活動や日常業務を直接見聞することができた。



裁判教室に臨む法学部生（手前傍聴席）
＝金沢地裁で

IT基礎講習が開講

10月30日、職業訓練開発講座「IT基礎講習」の開講式が大学教育開放センターで行われ、受講生約50名が出席した。

これは本学大学教育開放センター、共同研究センター、総合情報処理センター主催によるもの。パソコンの一般知識や、ワープロ、表計算ソフトなどの活用技術の修得を目指す。



熱心に取り組む受講生
＝大学教育開放センターで

外国語教育研究センター 研究会を開催

10月30日、外国語教育研究センターでは、今年度第3回となる研究会を開催し、約10名が参加した。

澤田茂保外国語教育研究センター助教授が「英語教育を使ったリスニングの授業」と題して研究成果を発表した。



研究発表する澤田助教授
＝総合教育棟南棟2階会議室で

トピックス

金岡教授 経済産業大臣表彰受賞

10月15日、金岡千嘉男工学部教授が、平成13年度工業標準化事業功労者経済産業大臣表彰を受賞した。

これは、金岡教授が各種の粒度分布測定法に関するISOの日本代表やWGコンベナー、JIS原案作成委員長などを歴任し、工業標準化事業に長年にわたり寄与した功績が認められたもの。



経済産業大臣表彰を受賞した金岡教授

井上教授ら4名 北國がん基金研究活動助成に選ばれる

10月11日、第15回北國がん基金の助成金の贈呈式が行われた。本学からは、井上正樹医学系研究科教授、中田光俊医学部附属病院助手、早川和一自然科学研究科教授、源利成がん研究所教授がそれぞれ研究活動助成として選ばれた。(記載は50音順)



井上教授



中田助手



早川教授



源教授

大西君「CGによる雪の結晶」で受賞



シンポジウムで発表する大西君
=東京・日経ホールで

コンピュータ上で再現するもの。学生としてこの賞に輝いたのは大西君が初となる。

9月29日、東京・日経ホールにおいて、ビジュアルサイエンスフェスタ・可視化技術シンポジウム2001-が開催され、優秀賞に選ばれた大西尚樹君(理学部計算科学科4年)、仙田康浩理学部助手が出席した。

大西君の受賞作「CGによる雪の結晶」は、雪の結晶の成長過程をコン



右から樋渡保秋理学部長・教授、大西君、仙田助手。

福村さん 200Mで全日本6位入賞

9月29日、石川県陸上競技場で「第49回全日本実業団対抗陸上選手権大会」が開催され、福村羊里子さん(医学部血液情報統御学教室)が女子200Mで決勝に進出し、タイム24秒89で6位に入賞した。また、福村選手は100Mにも出場し、8位という好成績を収めた。



全日本200m6位入賞の福村選手
=石川県陸上競技場で

本学へのお客さま

蘇州大学（中国）



林学長(左)と朱秀林副学長(右)
=10月1日, 学長室で

チュラロンコン大学（タイ）



左から金岡工学部教授, 林学長,
Wiwut Tanthapanichakoon教授, Wongpun Limpaseni助教授
=10月30日, 学長室で

職員研修

10月11日にVOD（ビデオオンデマンド）利用講習会, 10月17日に第1回契約室会計事務総合研修, 10月24日に自己啓発セミナー, 10月25日に中堅職員研修がそれぞれ行われた。

VOD利用講習会



松本亜由美講師
(住友商事エレクトロニクス)

中堅職員研修



日光 弘講師
(株式会社加賀屋顧問)

スポーツの秋

テニス



職員テニス大会（10月13日）
優勝 工学部チーム
準優勝 事務局Aチーム
第3位 がん研究所・医学部チーム
〃 理学部チーム

ボウリング



職員ボウリング大会（10月29, 30日）
団体戦
優勝 医学部附属病院5
（宮本, 前田, 菅）チーム
個人戦
男子 優勝 事務局 小林 正志
女子 優勝 教育学部附属学校
居村 明子

駅伝



第9回文部科学省関係機関等教職員駅伝競走大会（10月27日）
男子の部 13位 金沢大学Aチーム
55位 金沢大学Bチーム
女子の部 6位 金沢大学チーム
ロードレース
女子 11位 須釜 淳子

サテライト・プラザ

医学部5, 6年次生による心肺蘇生講習会

10月12日, 医学部5, 6年次生による応急手当の講習会が, 臨床実習の一環として市民を対象に金沢市中央公民館彦三館で開催された。講習会は来年7月まで計15回開催される予定。



等身大の人形を使って市民に心臓マッサージの方法を講習する医学部生



市民を対象にミニ講演会を開催

「無限級数のふしぎ
—数学の楽しさ・ふしぎさ発見—」

- ・日時 10月14日午後2時～3時
- ・講師 児玉秋雄理学部教授
- ・場所 金沢市中央公民館彦三館



講演する児玉教授

「エネルギー・環境問題とリスク・コミュニケーション」

- ・日時 10月27日午後2時～4時
- ・講師 中西孝理学部教授
金子熊夫東海大学平和戦略国際研究所教授
森厚文アイソトープ総合センター教授



講演する金子東海大教授

以上のお問い合わせ 大学教育開放センター 電話076-264-5272
総務部企画広報室 電話076-264-5020

編 集 後 記

10月から本誌の編集を担当することになりました。

着任してまず上司から話されたのは、「アカンサスニュースは写真で見せる広報誌だ」ということです。大学内での出来事や大学と関連した行事は毎日のようにあります。その中からニュースと写真を選ばなくてはなりません。これは簡単には出来ないのではないかと痛感しています。まず、一枚で状況をよく伝えられる写真を撮らなくてはなりません。そして、そのニュースを簡潔に表現する文章力が必要です。

一つ一つが勉強ですが、少しでもわかりやすく「金沢大学の今」を伝えられるよう邁進します。皆様からの御意見・御要望もぜひお寄せください。

(総務部企画広報室広報係 吉居 真吾)

米国教員が教育学部を訪問 フルブライトメモリアル

10月15日、フルブライトメモリアル基金教員プログラムの一環として、米国の小・中・高等学校教諭ら19名が教育学部を訪れ、教育学部教官、附属学校教諭、教育学部学生らと意見交換を行った。同プログラムによる米国教員の訪問は毎年実施されており、今回で5回目となる。

意見交換後にはキャンパスツアーが行われた。



意見交換する米国訪問団(左)と本学関係者(右)
＝教育学部会議室で



留学生、茶道を体験

10月18日、この秋に来日した留学生たちが、金沢市西町の旧園邸（金沢市指定文化財）で茶道を体験した。

村田泰恵講師より1年前から指導を受けているモスタファ・ハンマンさん（大学院自然科学研究科）がお点前を披露した。留学生センター日本語・日本文化研修生は、日本の伝統文化に触れるよい機会となった。



茶道から日本文化にふれる留学生たち
＝旧園邸で

就職指導ガイダンスを開催



就職説明を熱心に聞く学生
＝文・法・経済学部棟A101講義室で

10月11日、文・法・経済学部生を対象に就職指導説明会が開催され、学生約130名が参加した。

ガイダンスでは、本学卒業生の就職状況や就職活動におけるポイントなどが解説された。参加した学生には、細かくメモをとる姿が見られた。



平成13年11月16日発行
(原則として毎月1回第3週に発行)

〒920-1192 金沢市角間町
編集 金沢大学総務部企画広報室

TEL 076-264-5009
FAX 076-234-4015

◆本紙の内容、その他の本学に関する諸情報については、「金沢大学ホームページ」(愛称“KUPIS”(キューピーズ))
(アドレス=<http://www.kanazawa-u.ac.jp>)でもご覧いただけます。
◆本紙に関する御意見・御要望などは、電子メール(E-mail) = general1@kenroku.kanazawa-u.ac.jp でも受け付けています。